

佐野みどり・加須屋誠・藤原重雄編『中世絵画のマトリックス』Ⅱ

(青簡舎、2014年2月)

目次

I 大画面説話画の構造と様態

- 米倉迪夫 掛幅装高僧絵伝の制作目的とその機能——法然上人伝絵の再検討
原口志津子 本法寺蔵「法華経曼荼羅」と女性の信仰——芹摘む女と変成男子
加須屋誠 本土寺蔵観音経絵小論
泉万里 万福寺旧蔵「親鸞聖人絵伝」(西本願寺蔵) 試論
藤原重雄 「観興寺縁起絵」における在地的描写——掛幅縁起絵の景観表現

II 儀礼・図像・思想

- 阿部龍一 玄奘三蔵の投影——「真言八祖行状図」の再解釈
西口順子 「転女成仏経」について
小平美香 中世の天岩戸と童子信仰——神宮徴古館本「伊勢参詣曼荼羅」
加藤みち子 天台本覚思想の図像化
——「十界曼荼羅」と「鏡像円融三諦図説亦名観心十界法界図」を読む
藤元裕二 京都国立博物館蔵・詫磨栄賀筆「釈迦三尊像並羅漢図」について
——中世日本における中国画十八羅漢図の受容と展開

III メディアの交差、イメージの輻輳

- 山本聡美 「伴大納言絵巻」における経説の利用
——伴善男邸に描かれた破戒のモチーフ
梅沢恵 矢を矧ぐ毘沙門天像と「辟邪絵」の主題
本多康子 東京国立博物館蔵「土蜘蛛草紙」の物語フレーム再考
レイチェル・サンダース 絵とことばの輻輳
——藤田美術館蔵「玄奘三蔵絵」が語りだすもの(井戸美里訳)
加藤悦子 「春日権現験記絵」における神意の表現

IV 原基と変成

- 成原有貴 蓮華三昧院蔵「阿弥陀三尊像」試論
織田顕行 春日曼荼羅の一事例——長野県飯田市個人蔵「春日社寺曼荼羅」
古川攝一 大和文華館蔵「柿本宮曼荼羅図」試論
——和歌と絵画の関わりをめぐって
佐野みどり 「モノ」と語り——非情と有情